

令和3年第3回定例会一般質問順序表

9月8日～9日

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	答弁者
1	6	伊藤 新一	1 新型コロナウイルス感染症に伴う支援について	1 オールあかびらたすけ愛商品券について	1 昨年に続き今年7月にオールあかびらたすけ愛商品券が送付された。金額設定は同じであったが、飲食券限定から地域商品券に変更され、12月末までの有効期限として配布している。まだ3か月ほどの期限はあるが、現在までの利用率はどの様になっているのか伺う。	市長
				2 赤平市内の企業の経営状況の把握について	1 売上げが減少している企業等に赤平市独自の支援をおこなっているが、経営状況など企業の実状を把握し支援等を検討していく事も必要と思われるが、市長の見解を伺う。	市長
				2 子育て支援について	1 児童館，児童センターの適正配置計画について	1 令和4年度の統合小学校の開校に合わせ赤平市内5か所の児童館，児童センターの統合も含め適正な配置について検討することとなっているが、赤平市としてどのような方針になっているのか伺う。
			2 保護者，地域住民の方々への説明をおこない，赤平市子ども子育て会議で議論をしていただき，方針を決定するとの事だったが，説明会の開催や赤平市子ども子育て会議の進捗状況について伺う。			市長
			2 学童保育事業について		1 赤平市では，各児童館，児童センターで実施している放課後児童クラブの類似事業で，市独自の留守家庭児童見守り事業を実施していくとの事だった。関係各課と情報の共有，内容の検討を保護者，地域の方々に説明をさせていただくとの事であったが，進捗状況について伺う。	市長

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	答弁者
1	6	伊藤 新一			2 放課後児童支援員の確保については困難であるが、サービスの質の向上や安心して預けていただくために、資格を持った放課後児童支援員の配置も検討しているとの事であった。その後、放課後児童支援員の確保についてどのような状況なのか伺う。	市長
2	4	安藤 繁	1 高齢者福祉について	1 高齢者の認知症について	1 本市において、認知症の高齢者はどの位おられるのか伺う。 2 認知症の方の中で徘徊の症状の方はどの位おられるのか伺う。 3 本市では、認知症の方が行方不明となった事案はあったのか。また、行方不明者が出た場合、家族や関係機関との連携についてはどの様に考えているのか伺う。 4 本市は、行方不明者の対策として、ICTやSNS・ONS等の活用については、どの様に考えているのか伺う。	市長 市長 市長 市長
			2 環境問題について	1 グリーン購入の考え方について	1 グリーン購入について、本市は現在どの様に取り組んでいるのか伺う。 2 グリーン購入について、今後の取り組みをどの様に考えているのか伺う。	市長 市長
3	3	鈴木 明広	1 脱炭素社会実現に向けた本市の取り組みについて	1 本市の2030年に向けた温室効果ガス削減対策計画について	1 本市における2019年に策定した「第2次赤平市地球温暖化対策実行計画」を国の2030年度までに温室効果ガス46%削減目標に合わせるためには、従前の計画では不可能であろう。現時点における新たな計画の具体的な中身について伺う。	市長

順序	議席 番号	氏 名	件 名	項 目	要 旨	答 弁 者
3	3	鈴木明広		2 当市における「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金」を利用した再生エネルギー導入について	1 政府は22年度予算の概算要求に「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金」を盛り込み初年度は200億円程度とし、20から40の自治体を対象に30年度まで継続支援をする計画である。この交付金を活用し設備投資の1/2から3/4を賄い太陽光など再生エネルギー設備の導入のほか、蓄電池や水素設備による再エネの活用建物の断熱改修など一体的に取り組むべきであると思うが、考えを伺う。	市 長
			2 産業遺産の継承について	1 産業革命遺産の歴史の考え方について	1 世界遺産で有名な長崎県の軍艦島について、国連教育科学文化機関（ユネスコ）は明治時代の産業革命遺産をめぐり、日本政府の対応に強い「遺憾」を表明する決議を採択した。ユネスコは「多くの朝鮮半島出身者などが意思に反して連行され、厳しい強制労働に従事したことの理解を助ける方策」等を取るよう要求した。当市は現在炭鉱遺産について、建造物の保存や炭鉱のあった街としての民衆史や継承保存しているが、同時にユネスコの求める、いわゆる強制労働に従事したことへの客観的な歴史も継承し、国際的な責務を果たさなければならぬと考える。当市の炭鉱の負の歴史に対する継承の方法と見解について伺う。	教 育 長

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	答弁者
3	3	鈴木明広	3 新型コロナウイルスワクチンについて	1 新型コロナウイルスワクチン接種に関する差別について	1 日本弁護士連合会（以下、日弁連）は2021年2月19日に新型コロナウイルスワクチン接種に関する提言書において、我が国においては1994年の予防接種法改正によって、接種の強制はできないこととなったことを確認している。その上で、接種しないという判断をした者に対する偏見差別や不利益な扱いが絶対に許されないことを周知するとともに、偏見差別等防止のためのガイドラインの策定や相談体制の整備など有効な施策の検討と実施が必要であると主張している。現時点で本市において、日弁連の声明にある「選択権」「自己決定権」に係る問題や個人情報漏洩等の人権侵害に関する事案を把握されているか伺う。	市長
			4 行政改革について	1 RPA拡充について	1 本年3月の定例会一般質問において、人間の代わりに業務をこなしてくれる自動化ロボットツールであるRPAの実証実験の成果と今後の拡充方針について質問したが、現在庁舎内で行われているRPAを使用した新たな業務処理の実証実験効果ないし経過について伺う。	市長
				2 機構改革について	1 行政課題を各課横断的に捉え、効率的で迅速に実行でき、かつ市民にとって利便性の伴う組織に変えるという大きな方針転換のためには機構改革は必要であると思うが、現在、庁内では機構改革検討委員会のようなものが設置されているのか伺う。	市長

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	答弁者
3	3	鈴木明広	5 当市における学力増進について	1 小学生の基礎学力確立について	1 学童期の基礎学力が脆弱なまま中学校に入学し、高校受験5科目の基礎的な問題すら克服することができない生徒が少なからずいることを認識しなければならないと思う。その問題を解決するには、小学生を対象とする公設塾の拡充を図り公設塾の時間数を増やして、百マス計算や国語の漢字、音読、作文等の基礎を丹念に地道に指導することこそが当市の学力レベルの増進に繋がると思うが、考えを伺う。	教育長
4	2	東成一	1 有害鳥獣について	1 ヒグマの出没対策について	1 市街地にヒグマの出没情報が年々、増加している。今までより更に対策を強化する必要があると考えるが、市内においての箱わなの設置状況、捕獲数、今後の対策強化について伺う。	市長
				2 アライグマの駆除について	1 近隣の市町では、アライグマの捕獲数が毎年増加している。赤平市においての捕獲状況と捕獲者である資格保有者の状況を伺う。	市長
				3 エゾシカの駆除について	1 過去の質問での答弁で、浦臼町の加工施設にエゾシカを持ち込むには、一定の講習受講の必要があるということで、猟友会の会員の方の7割が受講され、持ち込みの資格を有したとの答弁でしたが、その後の捕獲数等とエゾシカの加工施設への持ち込み状況を伺う。	市長
		2 スマート農業について	1 ドローン等の導入、資格取得に伴う費用の助成について	1 農家1戸当たりの耕地面積が増加し、後継者不足、高齢化による農作業への負担が増大している。その事を補うために、赤平市の耕地事情に適しているドローンや自動水栓装置があるが、これらの導入、資格取得にかかる費用の一部助成に農業後継者サポート事業等を活用し、一部助成を検討していただきたいと考えるが、市長の考えを伺う。	市長	

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	答弁者
5	8	五十嵐美知	1 障がい者福祉について	1 視覚障がい者への自立生活支援について	<p>1 本市には、令和2年度において視覚に障がいのある方が58人います。市内の障がい者用手押し信号機には点字と杖の絵が表示されてはいますが、青信号に変わったことを知らせる音声流れない等の現状にあります。これは、共生できる社会をつくるための合理的配慮が求められ、赤平市内の「社会的障壁」の一つと思うが考えを伺う。</p> <p>2 視覚障がい者の外出や移動時をサポートする「同行援護」のサービスについて、本市においては現在、どのような状況にあるのか伺う。</p>	市長
				2 聴覚障がい者への配慮と支援について	<p>1 「赤平市思いやりあふれる手話言語条例」を制定した本市には、令和2年度において114人の聴覚障がいの方がおります。現在、市役所庁内には手話通訳のできる方が職員としておりますが、通訳者としての配置ではない状況です。この職員の退職後に聴覚障がいの方が今と変わらず、安心できる状況となるよう、配慮が必要と思うが、どのような対処を考えるか支援等について伺う。</p>	市長
			2 脱炭素社会の実現に向けて	1 森林の循環と木材の利用促進について	<p>1 脱炭素社会の実現に向け森林の循環を進めるため木材の積極的な利用を促す、改正公共建築物等木材利用促進法が先の通常国会で成立し、本年10月1日より施行され、改正法では法律の目的に「脱炭素社会の実現」への貢献が明記されています。樹齢の若い木は、より多くの二酸化炭素を吸収します。木材利用を促進し伐採と造林の安定的な循環につなげることで、森林の二酸化炭素吸収作用を高める狙いがあると認識しておりますが、本市として森林資源の循環利用については、今後、一層進めることが必要不可欠と思う。本市のこれまでの取り組みと今後について考えを伺う。</p>	市長

順序	議席 番号	氏 名	件 名	項 目	要 旨	答 弁 者
5	8	五十嵐美知			2 改正法に「木材利用促進の日」・「木材利用促進月間」の制定があります。漢字の「木」という字は漢数字の「十」と「八」に分解できることにちなむそうですが、10月8日を「木材利用促進の日」10月を「木材利用促進月間」として法定化し、国等は普及啓発の取り組みを行なうとされているが、当市としてこの日をどの様に活用されるのか、また、月間の取り組みをいかに考えるか伺う。	市 長
			3 SDGs（持続可能な開発目標）について	1 第2期赤平市しごと・ひと・まち創生総合戦略の推進について	1 SDGs達成目標の2030年に向け第2期赤平市しごと・ひと・まち創生総合戦略にSDGsの理念は盛り込まれてはいるが、市民との連携や理解をどのように考え2030年における赤平市のあるべき姿を示し、持続可能な地域社会を構築するのか、市民が主体者と思うが、第4章施策の展開と基本目標をそれぞれの具体的な取り組みと周知について考えを伺う。	市 長
6	5	北市 勲	1 市長の政治姿勢について	1 市民との信頼の維持について	1 市民の信頼を得るには市民との約束を誠実に守ることであるが、就任以来の信頼の維持について伺う。	市 長
				2 第6次赤平市総合計画の遂行について	1 第6次赤平市総合計画における実施計画タイムスケジュールが出されていないが、何故なのか伺う。	市 長

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	答弁者
6	5	北市 勲		3 赤平市の産業等の支援について	1 Aコープ赤平店の閉店や鞆製造企業の廃業などが続いているが、行政としての対応について伺う。	市長
				4 地域公共交通の進捗状況について	1 進捗状況について説明が皆無であるが、年内の実証運行は可能なのか、今後のタイムスケジュールや必要とされる予算等を議会に示していただきたい、考えを伺う。	市長
				5 コロナ禍後の経済振興について	1 コロナ感染症に対してワクチン接種や治療薬の普及により感染拡大が収束した後、早急な経済振興が必要であり、その対策についての考えを伺う。	市長
7	7	木村 恵	1 新型コロナウイルス感染症について	1 コロナ対策予算の執行状況と今後について	1 今年度も地方創生臨時交付金を活用し、様々なコロナ対策を行っているが、その執行状況はどうなっているか。感染拡大が収まらず、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が繰り返され、当初の予定とは状況が変わってきていると思う。年度中に執行できない恐れがあるものについては早急に実施計画を立てて組み替える必要があると思われる。現在の執行状況と今後の対応について伺う。	市長
				2 子どもの感染をめぐる状況について	1 デルタ株の感染拡大によって従来感染しにくいとされてきた子どもへの感染が顕著に増えてきている。10代以下の新規陽性者数が7月半ばから4週間で6倍になっており、内訳は高校生が多いものの小中学生の学習塾や保育園、学童保育のクラスターも増えている。保育所、児童館においてはこのデルタ株の感染拡大にどのように備え、対応しているのか伺う。	市長

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	答弁者
7	7	木村 恵			2 幼稚園，小中学校についても同様に，このデルタ株の感染拡大についてどのように備え，対応しているのか伺う。日本共産党は8月25日に学校の夏休み明けにあたっての緊急提案というものを発表した。①登校見合わせの選択・分散登校・オンライン授業などを柔軟に組み合わせて対応すること，②教室でのエアロゾル感染防止へ，短時間での全換気と不織布マスクを重視すること，③学校でのクラスター対策と広範な検査をすること，④学習指導要領を弾力化し災害時にふさわしい柔軟な教育を保障すること，⑤コロナについて学びとコミュニケーションを重視すること。これら5つの点についての考えも併せて伺う。	教 育 長
			2 介護・福祉について	1 ヤングケアラーについて	1 ヤングケアラーとは，年齢や成長の度合いに見合わない重い責任や負担を負って，本来，大人が担うような家族の介護や世話をすることで自らの育ちや教育に影響を及ぼしている18歳未満の子どものことを言う。子ども自身がヤングケアラーという問題を認識していなかったり，家族内のことで問題が表に出にくかったりするということが相談につながらないことや福祉的な支援が行き届かないという課題があったため厚生労働省は文部科学省と連携し昨年実態調査を行い，今年3月に調査結果を発表した。この結果の受け止めと，赤平市の相談体制，支援体制は，どのようなになっているのか伺う。	市 長

順序	議席 番号	氏 名	件 名	項 目	要 旨	答 弁 者
7	7	木村 恵		2 加齢性難聴者への補聴器 購入助成について	1 今年3月の一般質問で加齢性難聴者への補聴器購入助成について「引きこもりがちになるコロナ禍において認知症予防の観点からの補聴器購入助成が必要になってきたのではないかと伺った際、市長から「必要性を感じている、他市町村の例も参考に検討していく」と前向きな答弁があった。調べたところ、現在道内7つの市町村で助成を行っており、助成限度額は3万円から5万円で、購入費用の1/2を助成するということが多いようだ。現在どのような検討がされているのか、また、実施する考えはあるのか伺う。	市 長
			3 市民の健康について	1 国民健康保険の一部負担 金減免制度について	1 北海道は、国保の都道府県単位化の一環として、一部負担金減免要綱の標準例を市町村に公表した。しかし、その内容は、通院や調剤薬局の薬代などが対象にならない収入の中に借入金を含むなど複数の問題点があるとされている。現在、市町村でこの標準例に基づいて基準の見直し作業が行われている。北海道社会保障推進協議会の調査によると道内162保険者中66保険者から回答があり見直しを行ったところは約1割、見直す予定と答えたところは6割となっている。赤平市はこの調査にどう答えたのか、そして今後どのように扱っていく考えなのか伺う。	市 長

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	答弁者
7	7	木村 恵		2 特定健診とがん検診について	1 今年度の集団検診の申し込みは9月2日で終了していると思う。今年度もコロナ禍での集団検診となっているが、申し込み状況、受診状況はどうなっているか伺う。合わせてがん検診について現在は肺がん・胃がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がんの5つは集団検診時に自己負担500円で行っているが、前立腺がん検診はオプションで2100円となっている。2017年の統計では、日本で前立腺がんを発症した人は年間約9万人で男性に発症するがんの1位となっている。死亡率は他のがんに比べるとあまり高くないものの、転移すれば5年生存率が5割低下すると言われていることから早期に血液検査することが望ましいと思う。前立腺がん検診も他のがん検診同様500円にしていく考えはないか伺う。	市長
			4 機構改革について	1 行財政改革室における検討課題について	1 各課横断、あるいは連携して行わなければいけない事例に対して現状の機構を維持したまま進めていくことについてどのような認識を持っているのか。また機構改革するにあたってどういったところに着手していく考えなのか伺う。例えば、教育部門あるいは子育て関連のワンストップ、徴収業務の一元化などがあげられるのではないかと。具体的に検討していかなければならないと思うが、現時点での課題整理や方針について伺う。	市長
			5 学校における働き方改革について	1 1年単位の変形労働時間制について	1 令和2年度まで、取り組み期間とする「学校における働き方改革北海道アクションプラン」の取り組み状況調査が出ていると思う。令和元年度と比べて在校等時間について変化はあったのか伺う。また1年単位の変形労働時間制の問題点は繁忙期の時間外勤務が過労死ラインを越え、その分を閑散期に少なくしたりまとめて休みを取ったりするというものだが、この点についてはどのような状況か伺う。	教育長